

氏名	木村 諭志	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	精神看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	2006年 京都保健衛生専門学校 看護学科三年課程 2017年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 2021年 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士前期課程				
経歴	2022年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 助教				
所属学会(役職)	日本精神保健看護学会、日本看護科学学会、ウェルビーイング学会、日本看護管理学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	25の事例から学ぶ 看護のための心理的安全性	共著	あり	株式会社弘文堂、全280頁	秋山美紀、石井遼介、前野隆司、鈴木康美、森田牧子、江口のぞみ、小川千恵子、阿部真純、飯嶋周也、木村諭志他	2025.4
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	看護師の心理的安全性に影響を与える要因の特定：スコーピングレビュー	共同		第29回日本看護管理学会学術集会、札幌市	○飯嶋周也、波多野真弓、小川千恵子、木村諭志	2025.8
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科研費「基盤研究◎(一般)」			精神疾患をもつ人のヤングケアラーとなったきょうだいの体験—兄弟姉妹の会の実態調査—	研究代表者	2025.4~2026.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	精神看護学Ⅰ		1	実習調整上、オンデマンド授業とした。精神障害者家族の特徴や思い、家族システム、家族療法、家族をサポートする資源等について、学生がもつ家族観についても振り返りながら学べるようにした。家族の思いについては、親の立場からの語りの映像を活用し、学生の理解が深まるよう配慮した。		
2	精神看護学Ⅱ		1	前半は、ケアプラン作成に必要な精神看護学領域の理論や記録用紙について講義した。後半は、模擬事例について説明し、ケアプラン作成の個人ワークの時間とした。個人ワークの段階で生じた学生からの質問は、その場で応じられるように教員3名体制で対応した。		
3	メンタルヘルス論		1	ヤングケアラーの現状やメンタルヘルスに及ぼす影響、支援の課題について講義した。ヤングケアラー体験者の映像資料を活用しながら、教員自身がヤングケアラーだった体験も交えて説明した。最後は学生自身に問いかけ、必要な支援についてリフレクションができるよう工夫した。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	精神看護学Ⅱ		8	再構成は、ロールプレイを取り入れ、対人関係における自身の傾向や他者との相違に気づけるよう指導した。ケアプランは、個人のプランをもとにグループワークを行い、精神的のみならず、身体的、社会的側面について、退院後の生活を見据えたプランが立案できるように指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	総合実習		2025.7	これまでの実習を通して学生が見出した精神看護学領域に関する自己課題について振り返り、積極的に目標が達成できるよう実習指導者と調整を行いながら指導した。
2	IPW実習		2025.9～2025.10	学生達の自主性を尊重して見守り、共通する目標に気付けるよう発問したが、支援の方向性が定まらず留まっていた際には、各学科(専門職)毎へ問いかけ、相互理解を深めながらチームビルディングができるよう支援した。
3	精神看護学実習		2025.10～2025.12	病棟、地域、学内実習を織り交ぜ、精神疾患を有する患者とその家族の背景や思い、患者の安全と倫理的観点、ストレングスや地域で生活する視点について体験的に学べるよう指導した。学生の状況を共有し、精神科看護師としての役割についても理解が深められるよう、指導者との連携を重視した。患者の立場に立って考え、TPOに応じた関わり方を工夫する必要性についても指導した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2025.12	主指導 2名	副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	ウェルビーイング学会学会誌 査読者	2025.4～2026.3	実務研究論文1件の査読を投稿要領、ガイドラインに則って実施した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	リカバリー全国フォーラム2024「オンライン分科会13(オンデマンド配信)」	地域精神保健福祉機構(コンボ)	当事者も親も気にかけているきょうだいケアラーの気持ち	2025.4～5
2	令和7年度子ども大学こしがや・まつぶし学習プログラム	越谷市教育委員会	生き方学「おたがいを知ることから始まるコミュニケーション」	2025.8
3	市民公開講座	埼玉県立大学	精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク	2025.1
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人日本きょうだい福祉協会	調査研究委員会		2025.4～2026.3
2	公益社団法人 全国精神保健福祉社会連合会(みんなねっと)	企画委員		2025.4～2026.3
3	東京兄弟姉妹の会	運営委員		2025.4～2026.3
4	東京兄弟姉妹の会	副代表		2026.2～2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	(公社)全国精神保健福祉会連 合会	家族のためのリモート家族学習会「きょうだい」全5回	2025.10~2026.2
2	地域貢献活動	東京兄弟姉妹の会	設立50周年記念「第8回兄弟姉妹全国交流会 in東京」	2025.11
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	国試対策担当者会		2025.4~2026.3
2	学科等における委員会等	埼玉県病院機構連携会議		2025.4~2026.3
3	学生支援	看護学科2年生担任		2025.4~2026.3
4	大学広報活動	埼玉県立大学 大学紹介映像 「ケアの受け手と提供者の関係～ペプロウの対人関係論～」		2025.4~2026.3
5	大学広報活動	オープンキャンパス「精神看護学実習室見学」		2025.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			